

日本における医学専門書出版点数の定量的分析：

－医学図書館の購入点数との相関を中心に－

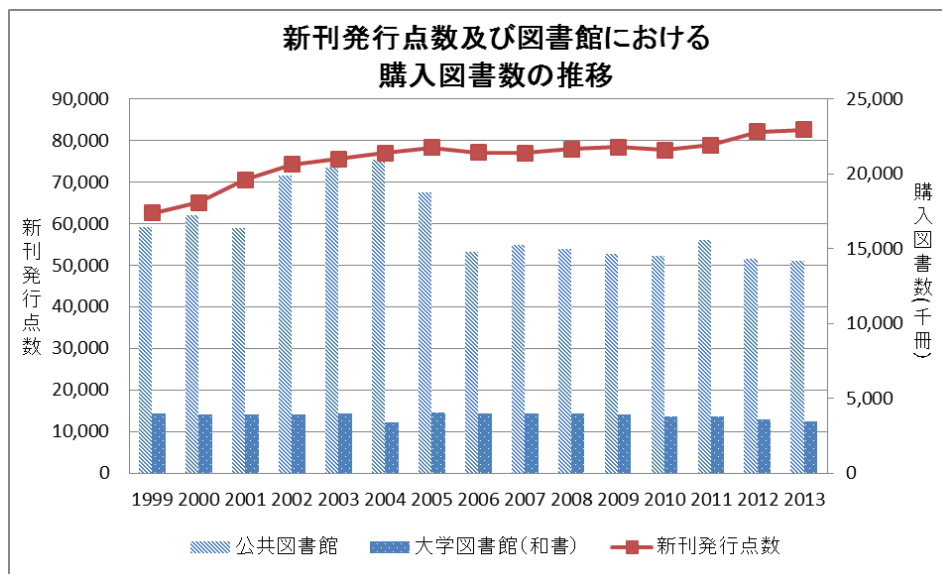
大谷裕

東邦大学医学メディアセンター

I. はじめに

日本の図書出版点数は増加傾向にある。出版ニュース社の「出版年鑑」で、直近 15 年の新刊図書発行点数をみると、1999 年の 6 万 2,621 点から徐々に増加し、2013 年は 8 万 2,589 点であった。1999 年と 2013 年の年間発行点数を比較すると、31.9% の増加である。

一方、日本図書館協会の「日本の図書館」で、同様に直近 15 年の購入図書冊数をみると、公共図書館の図書購入冊数は、1999 年の 1,648 万 1 千冊に対し、2013 年は 1,418 万 9 千冊、大学図書館の和書購入冊数は、1999 年の 401 万冊に対し、2013 年は 348 万冊であった。1999 年と 2013 年の年間購入図書冊数を比較すると、公共図書館は 14.0% の減少、大学図書館は 13.2% の減少である。図書館における図書購入冊数は減少している。



II. 目的

このような状況を踏まえ、本調査では、日本における医学専門書の出版点数と、医学図書館の和書購入数の相関を明らかにすることを目的とする。

III. 方法

- ・医学専門書の発行については、主に「出版年鑑」のデータから収集する
- ・医学図書館の和書購入数については、日本医学図書館協会の年次統計を用いる。

結果及び考察については、当日の発表を持って行う。